

「V-CUBE Gate」利用規約

株式会社ブイキューブ（以下「VC」といいます。）は、個人及び法人向け業務用メッセージサービス「V-CUBE Gate」（以下「本サービス」といいます。）について、以下の利用規約（以下「本規約」といいます。）を設け、本規約に基づいて本サービスを提供します。

第1条（総則）

1. 本規約は、本サービスの個人利用者（以下「V-CUBE ID ユーザ」といいます。）、法人利用者（以下「法人ユーザ」といい、「V-CUBE ID ユーザ」及び「法人ユーザ」を総称して以下「ユーザ」といいます。）及びVCに適用されます。
2. VCは、本サービスの利用を、ユーザが本規約に同意することを条件に、ユーザに非独占的に許諾します。
3. VCは、ユーザの事前の承諾なく本規約を改定することがあり、改定後の本規約を速やかに本サービスのWebサイト及び本サービス上に掲載します。本規約の改定後にユーザが本サービスを利用した場合は、本規約の改定に同意したとみなされるものとします。

第2条（本サービスについて）

1. 本サービスは、個人及び法人の業務効率化を目的としたメッセージサービスです。
2. 本サービスは、VCの判断により、ユーザの事前の承諾なく仕様等を変更されることがあります。
3. VCは、本サービスの適切な運営・提供を確保するために、ユーザが登録したメールアドレス及びニックネームの情報（以下総称して「登録情報」といいます。）を取得します。ユーザは、これらの情報のうち任意のものを登録しませんが、その場合、情報の登録を前提とする本サービスの機能が利用できない可能性があります。
4. 勤務先等の法人が発行及び管理するメールアドレスをV-CUBE ID ユーザがV-CUBE ID として設定した場合であって、当該法人が本サービスの法人ユーザである場合（事後的に法人ユーザとなった場合を含みます。）、当該法人ユーザは、自らが発行したメールアドレスの管理の一環として、当該V-CUBE ID を本サービス上で認識し、当該V-CUBE ID を利用するV-CUBE ID ユーザの登録情報及び投稿、送信/受信した内容を取得でき、また当該V-CUBE ID ユーザに対して情報発信することができます。当該法人が本サービスの法人ユーザでない場合は、そのようなことはありません。
5. 本サービスの運営上の告知、広告又は機能の一環として、ユーザのメールアドレスに対してメールを送信することがあります。
6. 本サービスは、VC以外の第三者のベンダが提供するサービス（以下「本提携サービス」といいます）と相互運用するように設計された機能を有する場合があります。本提携サービスの利用については、ユーザは、当該ベンダが定める利用条件に従うものとします。
7. 本サービスは、警察機関、海上保安機関、消防機関、医療機関その他連絡先への緊急の通信を保証するものではありません。
8. 本サービス及び本サービスに関連する一切の情報（ただし、ユーザが本サービスに投稿、送信、アップロードしたコンテンツ（以下「ユーザコンテンツ」といいます。）は除きます。）についての著作権及びその他知的財産権は、全てVC又はVCにその利用を許諾した権利者に帰属し、ユーザは複製、譲渡、貸与、翻訳、改変、転載、公衆送信（送信可能化を含みます）、伝送、配布、出版、営業使用等（以下、総称して「複製等」といいます。）をしてはならないものとします。
9. ユーザは、自己の責任及び負担において、本サービスで利用する情報端末及びインターネット回線を用意するものとします。
10. 本サービスは、ユーザが本サービスで利用する情報端末固有の識別番号を取得します。

第3条（ID等の取扱い）

1. ユーザは、本サービスのID又は及びパスワードが不正に利用されないよう、厳重に管理するものとします。また、パスワードについて、定期的に変更する、他人から類推されないような文字列を使用するなど、第三者から不正に利用されないよう十分な注意を払い管理するものとします。
2. ユーザは、ID又はパスワードの不正利用が発生した場合又は発生し得ることを覚知した場合、VCに直ちに通知するとともに、自己の責任及び負担において、不正利用状態又は不正利用が発生し得る状態を解消するものとします。VCは、ID又はパスワードの不正利用によってユーザに発生したいかなる損害についても、一切の責任を負いません。
3. VCは、最終のアクセスから1年間以上経過しているIDを、あらかじめユーザに通知することなく削除することができます。
4. 未成年者であるV-CUBE ID ユーザは、本サービスの利用申込に先立って、親権者など法定代理人の同意を得るものとします。

第4条（ユーザコンテンツの取扱い）

1. VCは、ユーザコンテンツにかかる権利を取得しません。ユーザは、自ら著作権等の権利を有するか、又は必要な権利者の許諾を得た文章、画像や映像（動画）等の情報のみ、本サービスに投稿、送信、アップロードできるものとします。
2. 本サービスは、他のユーザ及びVCが複製等を行うことができる機能を含む場合があります。この場合、ユーザは自らのユーザコンテンツに対する他のユーザ及びVCによる複製等について許諾するとともに、他のユーザ及びVCに対して著作権人格権を行使しないものとします。
3. VCは、法令又は本規約の遵守状況等を確認する必要がある場合、ユーザコンテンツの内容を確認することができます。ただし、VCはそのような確認を行う義務を負いません。
4. VCは、ユーザコンテンツが法令若しくは本規約に違反し又は違反するおそれがあると認めた場合、その他業務上の必要がある場合、あらかじめユーザに通知することなく、ユーザコンテンツを削除するなどの方法により、本サービスでのユーザコンテンツの利用を制限できるものとします。

第5条（禁止事項）

ユーザは、本サービスの利用にあたり、以下の各号に掲げる行為をしてはならないものとします。

- (1) 他人の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害するおそれのある行為
- (2) 本サービスを通じて入手した全ての情報について、本サービスが予定している利用態様を越えた複製等をする行為
- (3) 公序良俗若しくは法令に違反し、又は違反するおそれのある行為
- (4) 本サービスのID及びパスワードを、第三者に開示又は漏洩する行為
- (5) 本サービスを利用する権利を、有償、無償を問わず、第三者に譲渡又は貸与する行為
- (6) 本サービスを利用する権利に基づいて、第三者に商業目的のサービスを提供する行為
- (7) 同一又は類似の情報を、不特定若しくは多数のユーザに対して、又は複数回にわたり、投稿、送信、アップロード（マルチポスト、スパムメッセージ等を含む）する行為（VCが認めたものを除きます。）

- (8) VCが本サービスの提供にあたり運用する設備に対し、物理的又は電子的に不法に侵入、あるいは侵入を試みる行為
- (9) コンピューターウイルス、その他有害なコンピュータプログラムを含む情報を送信する行為
- (10) 本サービスに関する情報を改ざんする行為
- (11) VCが定める一定のデータ容量以上のデータを送信する行為
- (12) VCによる本サービスの提供を妨害するおそれのある行為
- (13) 法令、判決、決定若しくは命令又は行政処分その他の行政上の措置に違反する行為、その他VCが不適切と判断する行為

第6条 (解約)

- 1. ユーザは、本サービス上の所定の手順によって、本サービスを任意に解約できます。
- 2. VCは、解約したユーザの登録情報やユーザコンテンツを引き続き保有する義務を負いません。

第7条 (サービスの停止)

ユーザが以下の各号のいずれかに該当する場合、VCは、当該ユーザへの本サービスの提供を停止することができます。

- (1) 第5条の禁止行為をした場合
- (2) 登録情報に虚偽があった場合
- (3) 社会的に反する行為(公序良俗に反する行為、刑事罰若しくは行政処分を受けるような行為、反社会勢力若しくはそれに類する組織への所属、協力等の行為)をした場合
- (4) その他、VCがユーザとして不適格と判断した場合

第8条 (免責)

- 1. 本サービスは、以下の各号に掲げる場合に一時的に中断されることがあります。
 - (1) 本サービスに使用する設備及びネットワークのメンテナンス上やむを得ない場合
 - (2) VCが予測し得ない理由により、本サービスにかかる通信量が、使用設備及びネットワークの適応能力を超えた場合
 - (3) 本サービスに使用するデータセンタに障害が生じた場合
 - (4) 天災、戦争、その他の非常事態により、本サービスの提供が困難となった場合
 - (5) 公共の利益のために緊急を要する事項を内容とする通信を優先的に扱うため、本サービスの提供が困難となった場合
 - (6) VC、他のユーザその他の第三者の利益を保護する必要がある場合、その他VCがやむを得ないと判断した場合
- 2. 本サービスは、以下の各号に掲げる事由により快適に利用できないことがあります。
 - (1) ユーザが利用する機器(以下「利用機器」といいます。)のハードウェア又はソフトウェアの不具合
 - (2) 利用機器の時刻設定や言語設定等の不備及びスペック不足
 - (3) ユーザが利用するネットワークの切断又は品質不良
 - (4) ユーザが利用する他のソフトウェアの影響
- 3. VCは、本サービスに関し、その完全性、正確性、確実性、有用性等についていかなる保証もしません。
- 4. VCは、ユーザが本サービスを利用したこと又は利用ができなかったことに起因してユーザに損害が生じた場合、VCの責に帰すべき事由がある場合に限り、当該損害を賠償します。この場合、ユーザは、VCに故意又は重過失がある場合を除き、いかなる場合においても、(a)かかる損害賠償の対象となる損害が、VCの責に帰すべき事由に起因して現実に発生した、直接かつ通常の範囲の損害に限定されること、(b)VCがユーザに対して賠償する損害の累積額は、当該ユーザが損害賠償を請求する1か月前からVCが本サービスに関連して当該ユーザから支払を受けた金銭の合計額を上限とすることに同意するものとします。

第9条 (情報保護)

VCは、登録情報を、VCの定める情報セキュリティ基本方針(<https://jp.vcube.com/isms/security>)及び個人情報保護方針(<https://jp.vcube.com/privacy>)に則り、本サービス上の情報を管理・保護します。

第10条 (紛争解決)

- 1. 本サービスに関する紛争について、VC及びユーザは、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
- 2. 本規約は、日本国の法令に準拠して解釈されるものとします。

第11条 (法人ユーザの利用開始手続)

- 1. 法人ユーザは、本規約にあらかじめ同意のうえ、VC所定の申込書の提出又は本サービスサイトに設置される入力フォーム(以下「申込フォーム」といいます。)への入力をもって、本サービスの利用をVCに申し込むものとします。
- 2. VCは、審査の結果、本サービスの利用申込を承諾しないことがあります。
- 3. 本規約に基づく本サービスの利用契約は、VCが発行したIDが法人ユーザに到達した時に成立するものとします。

第12条 (法人ユーザの利用料)

- 1. 本サービスの利用料には、月額基本料があります。具体的な金額は、VCが別途提示する見積書その他資料によるものとします。
- 2. 本サービスの利用料の支払方法は、VCが別途提示する見積書その他資料によるものとします。
- 3. VCに支払われた本サービスの利用料は、理由の如何を問わず返金されないものとします。

改定履歴

- 2014年9月11日 改定
- 2017年5月30日 改定